

第2回千種区区民会議

平成22年3月5日（金）午後6時から
千種区役所講堂

【区長あいさつ】

日頃は、千種区政の運営、安心・安全で快適なまちづくりにご協力いただきありがとうございます。この場をかりて厚く御礼申し上げます。

現在、区役所改革の一環として、千種区独自の区政運営方針を策定し、「誰もが住みよい、住みやすいと実感できるまち千種区」をめざして区政運営をすすめております。千種区に住んで本当によかったという区民をひとりでも多く増やしてまいりたいという強い気持ちを持ち、職員一丸となり取り組んでおります。

今回は、区民会議2回目です。22年度の区政運営方針を策定するにあたって、その素案を皆さんにお示ししご意見をいただきたいと思っております。

区役所が地域の身近な行政機関としての役割を果たしていくために、「区民の皆さま方の満足度の向上を第一に考える」を合言葉に、効率性、迅速、サービスの向上という視点を加えて、職員の意識をかえ、区役所を変えていくという気持ちで取り組んでまいります。区民の皆さまから「利用しやすい区役所、信頼できる区役所」といわれるようさらに努力してまいりたいと思っております。

本日の会議は時間が限られていますが、ご意見・ご要望を拝聴させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【小出県会議員あいさつ】

本日は、名古屋市議会の本会議がまだ続いているようで市会議員の皆様はまだ到着しておりませんので、公職者を代表してあいさつ申し上げます。

先ほど区長さんが安心・安全・快適なまちづくりとおっしゃいました。私たちの暮らしが豊かになるにつれて地域の絆がうすれていきました。そして、それにとまどいをうけるようになりました。そこから安心・安全・快適なまちづくりに向けて出発していきました。

この区民会議は、地域の絆、地域の交流を復活したいという思いが底流にあると思っています。

区政運営方針についてという議題ですが、皆さまの闊達な意見交換を期待しています。最後までどうぞよろしくお願いいたします。

【区民生活部長 説明】

- ・区民会議についての説明

【区長 議長就任】

【区民生活部長 説明】

- ・「区政運営方針の意見・要望」についての説明
- ・今回の参加者からの意見の紹介

- ・ 議題1「平成22年度区政運営方針の策定」について概略説明
各課長より「福祉」「まちづくり」「区民サービス」について説明

【意見交換】

(公募参加者)

多くのものに今年の実績数を書いてあるが、実際は目標数値が入るのか。

また、実施した回数を書いてあり回数が増えるのも大事だが、いかに区民に浸透したかが大事だと思う。初めての参加者が増えたなど、浸透度が分かるようなものにしてほしい。

前回の区民会議でもいったが、区民が主役なので行政がどれだけやったかよりも、やったことにより、新たな区民の参加がこれだけ増えたというような広がりがあるような目標数値にしてほしい。

(区)

素案の中に掲載しているのは、今年度の見込みであり、公表にあたっては目標数値にかえていきたいと
思います。

目標は、実績を見て決めるのではなく、一歩進んだ高い目標を掲げていきたいと
思います。

また、21年度は取り組みの大きな項目ごとでしか目標を掲げておりませんが、今回は項目にあるそれぞれの取り組みごとに目標を掲げ確実に実施していきたいと
思います。

おっしゃるとおり、区民の方の声をきくことが大事だと思いますので、アンケートを実施・集計しながらステップアップしていきたいと
思います。

(公募参加者)

この区政運営方針は、ストーリー性がない。重点推進施策を掲げているが、どうしてそれが重点施策かがみえてこない。

「千種区ってこんなまち」と紹介しているが、千種区の現状・特徴を掲載するべきではないか。他区と比べてどういう状況なのかなど、そういう情報があって重点推進施策に結びついていくのではないか。千種区にどんな課題があるのかということがはじめにあって、それを解決するためにこういうことをやっていくという形でないとう理解できない。

また、区民＝居住者が一般的だが、千種区にかかわる人というと千種区に勤務する人たちも区民だと思う。そういう人たちの意見もどうやってくみあげていくか、考えがあれば教えて欲しい。

また、多くの大学があるというのが千種区の特徴だと思う。その中には、地域計画・都市計画の専門の人も多いと思う。そういう人たちの意見をきく仕組みを用意してはどうかと思う。

(区)

「千種区ってこんなまち」のページは初めて設けたページです。区政運営方針が区民の方に十分知ってもらえていないということで、行政的な文字ばかりのものではなく、みていただける、親しんでいただけるものということで入れました。

高齢者・子どもなどの人口構成のデータもあるといいということなので、つながりがある書き方にして
いきたいと
思います。

市政区政は住民の方が中心の施策になっているが、市外からみえている方の意見は、事業の中でできるだけ拾って
いきたいと
思います。

おっしゃるとおり、千種区は文教地域です。魅力を活かしたまちづくりの事業の中では大学の先生と協働して行っているものもありますが、そういった取り組みを増やしていきたいと思います。

(公募参加者)

千種区の問題・課題は5つあげるとしたら何があるか。

(区)

全市的には、高齢化、児童虐待などいろんな問題があるが特に「千種区で」というと難しく、全市的な課題が一部千種区でも課題だと思います。

22年度区政運営方針の6ページから個々の取り組みがありますが、現状というのがあります。これがあ意味で課題であります。その対策としてどうしていきたいというふうに展開しています。取り組みは独自ですが、大きな部分は全市的です。魅力発信では、千種区らしさを出していきたいと思います。

(団体代表者)

この区政運営方針は、昨年に比べて以前とは比べ物にならないくらい内容が豊かになっている。

重点項目がいろいろあり、子育てなら子育ての中で解決するようになってきているが、地域の助け合いの仕組みづくりは、実際は防災関係だけでなく、子育て・高齢者などの問題が入っている。エリアをわけて考えるというものではなく、助け合いの仕組みづくりの中に、すべてが入っているというようになるべきである。

ワンストップという言葉が流行っている。一箇所で内容がわかり解決する、区民の立場に立った問題解決の方法をすすめてほしい。

(区)

区政運営方針は、それぞれの分野ごとになっています。これは行政の組織上の形となっています。実際地域では、それぞれが一体となっているということだと思います。これは切り分けて記載をしていますが、実際は単体ではないと思っています。

(団体代表者)

立場が違えば見方が違うということを痛感した。

私は、区政運営方針は去年より充実していると思う。

昔は行政から言われたことをやっているだけだったが、協働という言葉を使うようになり、少しずつ協働での取り組みも増えてきた。

しかし今日も、公募しても実際は数名の方しか応募いただけない。

千種区の特徴は何かというと、都市でありながら豊かな森があるということだと思う。今年はCOP10が開かれる。こうした自然や、文教地域であることを活かしていけるとよいと思う。

(公募参加者)

今回、この区民会議にはじめて参加したが、公募の参加者が4人しかいないが、応募が4人しかなかったのか。また、公募以外の委員長さんたちはどうやって選ばれているのか。

(区)

公募で申し込みされたのは、4人です。

区政運営方針を作っていく中で、行政だけで作っているのではなく、地域の皆さまと一緒につくっているので、活動している皆さまというメンバーになっています。

学区連絡協議会の中の代表の方がみえています。

(公募参加者)

区民会議というので、区民の方がもっとたくさん参加しないといけないのではないかな。

肩書きのある方ばかりでは、意見が反映されないのではないかな。

子育てママや高齢者の問題があるが、縦割りにせず、高齢者でも元気な方もいるので、そういう方の力を活かすような方向を考えていただきたい。横の広がりがなく、いつも学区連協の同じメンバーでやっ
ていては発展しないのではないかな。

(団体代表者)

自治会活動を通して、町内のいろんな問題を抱えている。学区の問題をどうしたらよいかということ
を常に考えている。

会社人間で、地域にかかわりが無いという話だが、われわれは若い頃から地域とかかわりをもってやっ
てきた。地域との活動に参加して欲しい。町内会にとびこんでもらうと、問題はみえてくると思う。肩
書きをもってきているが、肩書きだけではなく、地域の基盤にたっており、課題を知ってきている。皆
さんもっと町内会にとびこんでいただければ問題もわかると思う。外からみているとわからないと思
う。

(団体代表者)

区政協力委員のやり手がなくて困っている。やる気がある人は、どんどんエントリーしてやってほし
い。

(公募参加者)

「やってください」と言うのは誰が言ってそうなるのか。選挙はないのか。自治会で活動をしていると
いうが、住民に知らせていないので、いつ何をやっているのかわからない。

(団体代表者)

あなたの町にも自治会はある。知らないというのはおかしい。

(区)

この件は、あとで直接説明をお願いします。

(団体代表者)

地域委員会で、地域課題、地域課題というが、自分の学区で分析的な課題の考え方をしてきたかなと考
えた。

地域課題を区という単位で考えてよいか疑問だが、地域性をもった千種区的な課題を具体的にする努
力をお互いがしないといけない。

学区単位、区単位で行政的課題、地域的課題、地域性・計画性を深めていく方向性をもたないと来年も同じことを書くことになると思う。

そういう能力を学区がもつよう、模索しないと進展しない。

また、予算が1千万だけでは、千種区の課題が何かといってもできない。行政と地域の歩み寄りを構築しないといけない。

(団体代表者)

先ほどの公募参加者の発想はもっともだと思うが、かみ合わない。

ある予算を与えられていて、できる範囲でやっている。昨年から区政運営方針ができたが、1千万の範囲で自由にやっていいということである。千種区=文教といっても、できる範囲でやっていくとなると、1番の目玉は区民まつりである。

(団体代表者)

行政にも一定の限度がある。

例えば、阪神大震災で住民が救出したのが8割。命令もなく、地域が考えて協力した結果。

行政と地域が一緒になってはじめてうまくいくのだと思う。

自分の学区は6割は年寄り。若い人は町内会の会議には出てこられない。

行政に限界があるので、地域がきちんとしていないといけない時代だ。行政がつくるのではない、そうでないとこの区民会議は意味がない。われわれは地域として頑張っていけないといけない。

(区)

自主的・主体的な区政運営としての運営方針を作るのが今回3回目であり、今から拡充・充実していきたい。

区役所の職員が地域の中に入って行って、地域の声をよく聴き協働・連携した取り組みを進めていきたいと思います。

また、予算は限られていますが、お金がかからない方法もありますので、限られた予算の中で頑張っていていきたいと思います。

(公募参加者)

自治会の話の実際をいうと、自治会・町内会は任意加入なので参加者が少なくなっている。ということは役員になるひとも少ない。関心も少なくなっている。

前は傍聴席が2人だったが、今日は8人ほどいる。こういうふうに関心をもってもらうことをご近所ですすめていかないといけない。

区民の意見を聴く機会、情報を流す機会を増やしていかないと広がっていかないと思う。

近所で、つながっていくという雰囲気をつくっていかないといけない。

(区)

今は、区政運営方針の内容について聞いています。区政運営全般の内容になっているので、区政運営方針についてお願いします。

(公募参加者)

1回目よりも2回目の方が雰囲気になごやかに感じるのでよくなったと思う。

前回の議事録が区のホームページに掲載されるのに2ヶ月かかった。それにしては十分な内容ではなかった。情報公開をしないと次につながらないと思う。もっと迅速にやってほしい。

また、今回の区民会議の公募の募集は、区のホームページには載っていなかった。

区のホームページの作り方がどうなっているのかが疑問。区政運営方針には、区のホームページのことが載っていない。

区のホームページに田代学区の地域委員会のことがひとつものっていないのもおかしい。情報公開を充実して欲しいと思う。

今回の議事録を早急に、しかも内容の濃いものを掲載してください。

また、窓口対応についてだが、区役所に行ったとき「お客様」といわれ違和感を感じた。私は「お客様」ではないと思う。

(区)

前回の議事録は2ヶ月かかり遅かったと反省しています。今回はできるだけ早く、より詳しい内容を書きたいと思います。

田代学区の地域委員会については、掲載しているはずですが。

ホームページの魅力アップについては区政運営方針にも掲載しているので、取り組んでまいりたいと思います。

今回の区民会議の公募委員の募集については、広報なごやのみとなっていますが、次回からは区のホームページにもきちんと掲載していきたいと思います。

(区)

「お客様」というのは違和感があるということですが、気持ちよく用件をすませていただきたいという思いから、千種区だけではなく、全市的に「お客様」という言葉を使わせていただいています。

(団体代表者)

区政運営方針の中に、交通安全、生活安全など警察行政とつながりのあるものがたくさんあるが、なぜ警察署長がいないのか。

(区)

役所的ですが、これは名古屋市の施策なので市の関係機関ということで集まっています。警察にも情報提供はし、警察と連携するなど内容的には調整して実施しております。

(団体代表者)

警察と距離をおいているように感じる。

(区)

そういうわけではないが、警察と意見交換しやっていきたいと思っています。

(団体代表者)

区政運営方針の14ページに防犯パトロールがあるが、自由ヶ丘学区では、あの事件があったからだと思うが、警備会社が連日1日に5回以上、ひったくり防止、誘拐防止のパトロールを車で行っている。最近はじまったことだが、自由ヶ丘以外でもやっているのか。この時期だけなのか教えて欲しい。続けてやって欲しいと思っている。

(区)

正確な情報がないのですが、警察で全体的にやっているはずですよ。

(団体代表者)

警察がパトロールするには、全部はまわれないので、全地域を毎日まわっている。それがいつまで続くかは、事件の発生がうすくなればやめるということだと思います。

(小出県会議員)

平成21年度の第1次補正予算の緊急雇用対策の予算でやっています。県内各署に予算の割り振りをしており、景気がよくなるまではやるということだと思います。

(区)

時間がまいりましたので、そろそろ終わりにしたいと思います。
今後とも、地域課題、行政課題を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

(区)

この区政運営方針は5月に発表していきたいと思っています。
後日でもよいので、ご意見・ご要望をおよせいただければと思います。